



連合長野の森 枝打ち作業

委員会・長野地協
幹事会の26名で
10月26日に実施

連合長野の森

●21世紀を間近かにして「地球の環境変化」は、人類に重い課題を提起している。豊かな水と緑に抱かれた地球、このかけがえのない環境がいま、脅かされつつある。

人間が生きていくために欠くことのできない水と緑の源泉を育て守りたいとするわれわれの熱い想いは1992年10月18日、この地で「連合長野の森づくり」をスタートさせた。

●連合長野のまいた種は決して大きくない、しかし地球環境保全への運動はヒノキ、ブナ、キハダ、スギの苗木と共に大きくたくましく育つものと確信してやまない。
1994年7月23日



枝打ち実施前



枝打ち実施後



次回の枝打ちは2023年。伐採は45年後。